

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 270-0803

住 所 千葉県柏市小青田1丁目3番地12

氏 名 医療法人社団葵会

理事長 新谷 幸義

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	医療法人社団葵会		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区田町2-9-1		
該当する事業 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	病院、診療所及び介護老人保健施設		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,301	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	
		※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 6,063	(実) 5,987	(実) 6,064	(実) 6,050	(実) 5,881
	(調) 5,943	(調) 5,867	(調) 5,920	(調) 6,011	(調)
削減率		(実) 1.3%	(実) 0.0%	(実) 0.2%	(実) 3.0%
		(調) 1.3%	(調) 0.4%	(調) -1.1%	(調)

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

	延床面積				t-CO2/m2
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	目標とした値
排出量原単位等の値	0.1305	0.1288	0.1305	0.1302	0.1266
活動量の値	46456	46456	46456	46456	-
排出量原単位等の削減率		1.3%	0.0%	0.2%	3.0%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	AOI国際病院 葵の園・川崎南部と葵の園・川崎は日々の省エネ活動によって削減することができたが、武蔵小杉については増加してしまった。全体では1.3%の削減ができた。	
第2年度	葵の園・川崎と葵の園・武蔵小杉は日々の省エネ活動によって削減することができたが、AOI国際病院、葵の園・川崎南部はコロナ対応での換気強化により、エネルギーが増加し、全体では前年比で増加してしまった。	
第3年度	コロナの影響もあり、各事業所ともに若干の使用量の増加になっているが、排出係数の変化により、増加は抑えられた。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		空調負荷の増加を抑えるのが必要だが、現状では換気量を減らすわけにもいかず、難しいかじ取りになっている。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		高効率設備の導入を予算も考えながら進めていきたい。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○空調設備の消費エネルギー管理 冷暖房時の設定温度を見直し、適正な温度設定を行い省エネに努める。 空調機フィルター等の手入れを定期的に行い、効率的な運転を維持する。</p> <p>○照明設備の消費エネルギー管理 過剰な照度を下げるため、灯具間引きや昼休みの消灯、晴天時の自然光導入などの適正な管理を行い、省エネを推進する。</p>
<p>第1年度</p>	<p>○空調設備の消費エネルギー管理 冷暖房時の設定温度を見直し、適正な温度設定を行い省エネに努めた。 空調機フィルター等の手入れを定期的に行い、効率的な運転を維持した。</p> <p>○照明設備の消費エネルギー管理 過剰な照度を下げるため、灯具間引きや昼休みの消灯、晴天時の自然光導入などの適正な管理を行い、省エネを推進した。</p>
<p>第2年度</p>	<p>○空調設備の消費エネルギー管理 冷暖房時の設定温度を見直し、適正な温度設定を行い省エネに努めた。 空調機フィルター等の手入れを定期的に行い、効率的な運転を維持した。</p> <p>○照明設備の消費エネルギー管理 過剰な照度を下げるため、灯具間引きや昼休みの消灯、晴天時の自然光導入などの適正な管理を行い、省エネを推進した。</p>
<p>第3年度</p>	<p>○空調設備の消費エネルギー管理 冷暖房時の設定温度を見直し、適正な温度設定を行い省エネに努めた。 空調機フィルター等の手入れを定期的に行い、効率的な運転を維持した。</p> <p>○照明設備の消費エネルギー管理 過剰な照度を下げるため、灯具間引きや昼休みの消灯、晴天時の自然光導入などの適正な管理を行い、省エネを推進した。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>運用改善はできる限り、現場は実行している。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	現在、川崎市内事業所では、太陽光発電等の実績がないが、今後は葵会グループとして太陽光発電等の再生可能エネルギー導入を検討する。
第1年度	太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入が可能か検討中。
第2年度	太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入が可能か検討中。
第3年度	太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入が可能か検討中。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	6,063 t-CO ₂	5,987 t-CO ₂	6,064 t-CO ₂	6,050 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	3,182 KL	3,166 KL	3,257 KL	3,301 KL
事業所の数	3	3	3	3

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
A01国際病院、葵の園・川崎南部	川崎市川崎区田町2-9-1	4,737	4,661	4,880	4,857

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度